

明治大学 理工学部 機械工学科 学習教育目標新旧対照表

2015 カリキュラム	2005・2010 カリキュラム
(A) 技術者意識の涵養	
(A-1 教養) 技術的視点のみならず、人文的・社会的教養に照らし、多面的に物事を見て総合的に考える素養の育成	(A) 広博な技術者の育成 地球規模で調和した豊かな社会を実現するため、総合的な教養教育を通して、科学技術に偏らず、多面的に物事を観て総合的に考えることのできる素養を育てる。その結果、己の行動に対する責任を自覚し、かつ己を律することで広く社会に貢献できる人材の育成を行う。
(A-2 技術者倫理) 科学技術を用いて問題解決や価値創造を行う技術者の備えるべき倫理の理解	(B) 技術者倫理の教育 人間・社会・自然環境と技術開発との関わりを常に自覚しつつ、技術者として社会的責任を果たす。すなわち、自分の仕事の社会的な意義と効果、それに自然や環境に及ぼす影響にも思いをはせるような責任感と倫理観のある人材を育成する。
(B) 工学基礎および専門知識・技術の習得	
(B-1 工学基礎) 数学、物理、化学、電気、情報を含む理系の基礎概念・知識と実験実習を通じた実物感覚の習得	(C) 工学基礎教育 直面する問題や課題に技術者として適切に対処、処理するため、数学や物理を基本とする自然科学、情報技術など工学の基礎を教育する。
(B-2 機械専門) 機械系4力学、機械設計をベースとした機械工学の専門知識・技術の習得	(D) 専門技術教育 種々の要求をすり合せ一つの機械・システムを創り出す機械技術者となるため、4力学を中心とする幅広い専門知識・技術を基礎から教育する。将来、様々な分野で活躍できる素養を育成するため、基本専門科目は必修とし、応用科目には幅広い選択肢を提供する。
(C) 実践力の養成	
(C-1 主体性) 主体的な学習習慣と興味を持って取り組む積極的な態度の涵養	(A) 広博な技術者の育成
(C-2 デザイン能力) 社会の要請から解くべき課題を設定し、環境への影響、制約条件等を考慮し、課題の解決策を創出するデザイン能力の養成	(E) 創造的なデザイン・表現能力ならびにマネジメント能力の養成 優れた人間性と修得した工学基礎・専門知識を活用し、仲間と共に与えられた環境の下で問題を設定して解決する。その際に、新しい価値観を創造しそこに盛り込む、真のデザイン・表現能力、さらに、多角的に検討、計画して実行するマネジメント能力を養成する。
(C-3 マネジメント能力) プロジェクトを多様な制約条件の下で、改善を行いながら、計画的に実施し、まとめるマネジメント能力の養成	(E) 創造的なデザイン・表現能力ならびにマネジメント能力の養成 (G) 計画的処理能力の育成 与えられた課題や条件付きの物事を適切に対処し、その結果をできるだけ簡潔にまとめ上げる能力を育成する。
(C-4 チームワーク能力) 機械工学の総合性を通じ、協働するための能力の養成	(E) 創造的なデザイン・表現能力ならびにマネジメント能力の養成
(C-5 表現・コミュニケーション能力) 論理的に読み書きし、表現する能力、プロジェクト遂行に必要なコミュニケーション能力の養成	(F) グローバル化に対応しうるコミュニケーション能力と国際感覚の養育 論理的な記述力、プレゼンテーション能力、討議などのコミュニケーション能力を養うと共に、グローバル化に対応しうる英語を中心とした語学能力の向上に力を注ぐ。

※機械工学科では、2015年度カリキュラム改訂と共に学習教育目標を再編し、2015年度入学生から適用します。